

国道8号野洲栗東バイパス トピックス No.3 (平成27年1月号)

※国道8号野洲栗東バイパスにかかる現在の話題をみなさまにご提供します。

●平成26年度における国道8号野洲栗東バイパス整備促進期成同盟会の活動について

野洲市、守山市、栗東市により平成24年2月に設立されました「国道8号野洲栗東バイパス整備促進期成同盟会」では、5月21日に総会を開催し、バイパス整備促進に係る提言を採択しました。

これを受けて7月25日に近畿地方整備局、8月18日に滋賀県庁、8月20日に中央省庁において大津湖南地域幹線道路整備促進協議会（会長市：草津市）と合同で要望活動を実施しました。

総会で採択されたバイパス整備促進に係る提言の主な内容

- ① 国道8号野洲栗東バイパス全区間の早期整備促進
- ② 栗東第二IC～県道片岡栗東線間の優先的な整備促進
- ③ 関連道路整備事業との連携した「道路ネットワーク」を構築するため、十分な道路整備財源の確保



8月20日 菅 内閣官房長官（左）・西村 内閣府副大臣（右）への要望活動の様子
国道8号野洲栗東バイパスの早期整備促進について、各市長、議長等で要望を行いました。

国道8号野洲栗東バイパス位置図



国道8号野洲栗東バイパスは、昭和57年に事業化され、平成12年に都市計画決定された全長4.7kmの4車線の道路です。事業化から30年以上経った今、計画が大きく動き出しています。

●国道8号野洲栗東バイパスの各市における事業進捗状況（平成27年1月末日現在）

現在までに3市沿道対象11地区のうち、9地区において道路幅杭の設置が行われ、現在用地測量、補償調査及び用地買収が行われています。また、平成25年度末での事業進捗率は用地取得面積ベースで約6%となっています。

★野洲市 市域約1.9km 全区間で道路幅杭設置を終えています。
妙光寺地区の農地においては、ほぼ用地買収が完了しました。今年度は文化財の試掘調査を実施し、仮設の畦畔、フェンス、水路等が設置される予定です。

三上地区(小中小路、大中小路、前田)では、用地測量を実施中で、今後地権者の方々と用地買収の交渉を行っていく予定です。

このほか、市内の事業所、工場では用地測量及び補償調査を実施し、一部事業所においては用地買収に着手しています。



妙光寺地区文化財試掘調査・仮設構造物設置工事の様子 H27.1

★守山市 市域約0.5km 全区間で道路幅杭設置、用地測量を終えました。

立入地区の約80%は買収を終え、今後も用地買収の完了に向けて地権者の方々と交渉を進めていきます。

★栗東市 市域約2.3km 区間のうち約1.8km 区間で道路幅杭の設置を終えています。

大橋地区、宅屋地区の一部及び中地区では用地測量を終え、建物等の補償調査を実施しています。

出庭地区では用地測量を実施中です。今後は地権者の方々と用地買収の交渉を行っていく予定です。

大橋地区では、昨年度から用地買収を進めています。



出庭地区 用地立会の様子 H26.11

●現在の国道8号の混雑状況を解消するには



現在の国道8号は、交通渋滞が慢性化しており、交通事故も多発するなど周辺の生活環境が悪化しています。このことから、現状課題を解消するためにも、バイパス整備の早期実現が不可欠です。

バイパスの整備促進について引き続きみなさまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

発行 国道8号野洲栗東バイパス整備促進期成同盟会事務局（野洲市役所都市建設部国県事業対策室内）
〒520-2395 野洲市小篠原 2100-1 電話 077-587-6068 E-Mail: kuni@city.yasu.lg.jp